

運営委員会ML [02228] 藤本委員：やっと議論の第一歩ですね！

---

藤本委員、

ご投稿ありがとうございます。

これで、やっと議論の第一歩を踏み出せます。

なお、戸田がいつでもメールを見る環境にある、というのは、事実とは異なります。

また、常々思うところですが、現時点の現象をのみ捉えて、自らの正当性を申してられますが、その事象に至るにはそこに至るだけの経緯すなわち必然性があります。

たとえば、度重なる無視・黙殺を行う（「相手にしない」これが藤本さんの戦略、とご自分で仰っていたと耳にしております）。

これは恣意的な「罾」とも評価できるでしょう。

この方略によって相手の行動化を誘い出し、その顕在化された結果を以て、相手の人格の評価（ときには診断名）とする。

DSMの診断方略と同じですね。

病因ではなく、現時点での状態像のみで判定し、対象者の文字通りにも社会的にも生殺与奪権を握る。

言葉尻を捉えて、との戸田への批判は、どの箇所でどのような点で行われているのか、如実に指摘いただきたい。

戸田は主観的にはそのような、どなたかのような姑息な手段を用いた覚えはございません。

また、貴方の「臨床心理学会」観が、一般会員にも共有されているのか否か、また社会貢献の要請に応えうるものなのか、それも議論の根幹となさねばなりません。

以上、出発前ですので、言葉足らずになりました。

実りある議論は、感情労働のたまものであらせられる誤魔化しの効く口頭ではなく、このように、書面でなし得るものと考えます。

こんごとも、この調子で、ご投稿をお願いします。

とりいそぎ

戸田游晏拝